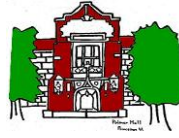


ななかま

プリンストン日本語学校新聞



平成24年度 No.19号

平成24年 9月30日

文責 長尾重範

前期最終日（通知表をもらいます）

「学ばざるは卑し」心新たにがんばりましょう！

シリウスと 木星金星 明けの空
足早な 秋さまよえる 足寒し

参観日のご案内

10月14日 1校時参観 2校時懇談小5小6

3校時参観 4校時懇談小3小4

10月21日 1校時参観 2校時懇談小1小2P小

3校時参観 4校時懇談中、P中高

退任の御挨拶 中学1年担任 ビーチ和恵

2005年の1月から中学1年生、中学2年生の担任を務めさせていただきました。大変突然ですが、この度日本への移転が決まり退職することとなりました。中学生の皆さんには、この7年半、日本の人気歌手のこと、食べ物、若者言葉、ファッションなど沢山のことを教えてもらいました。とても楽しかったです。英語と日本語の二つの勉強に追われ始終忙しく、また色々な悩みも多い日々なのに、いつも明るく頑張っている皆さんに私はいつもエネルギーをもらってきました。今まで私と付き合ってくれた生徒の皆さんどうもありがとうございます。保護者の皆様には、これまで毎年大変お世話になりました。皆様のご支援無しにはやって来られなかったと感謝の気持ちでいっぱいです。また、先生方をはじめ学校関係の皆様、これまでの様々なご指導ご鞭撻心よりお礼申し上げます。プリンストン日本語学校がこれからも益々素晴らしい学校となりますようお祈りしております。ありがとうございました。

タイラー・ウォン君新聞の人に！

『福島民報』(8月26日)に「米国から母親の実家に里帰り」「福島っ子と野球で絆」の見出しで大きく写真入りで記事が掲載されました。

「毎年、家族で母親の実家に里帰りしていたが、昨年は東日本大震災の影響で訪れることを断念せざるを得なかった。家族にとって大切な古里であり、海の向こうから常に心配し続けていた」「日本の野球を体験し、福島の子もたちと交流させたい」との母親の思いが実った経験でした。チームメイトとの絆を感じることができた福島での貴重な夏休みでした。

行事予定表

10月14日 21日 参観日懇談日

10月28日 漢字検定

11月4日 新1年生募集説明会 秋祭り

退任御挨拶「感謝を込めて」 中学部担任 河嶋久美子

これまで長年にわたり、教えることで多くのことを学ばせて頂き貴重な経験をすることができましたのも皆様のお陰と、感謝申し上げます。

毎回の授業計画を立てるために教科書と指導書を深読みするうちに、国語教育の重要な意味と、編集者たちの未来を担う子供達への強い「願い」を感じました。これは学習指導要領が求める「生きる力」を育むことに通じると思いました。少なくとも私が補習校で手にした教科書はそれほど教育的な価値のあるものでした。

もちろん漢字と言葉の意味が分からなければ読み解くことはできませんから、英語環境で生活する生徒にとっては大変です。ですが、異なる社会と文化を体験する者だからこそ、筆者と作者のメッセージを深く理解できるとも言えます。

今年から中学は、脱ゆとり教育の方針のもとで教科書が新しくなり学習内容が増えましたが、本校の学習時間に限りがあるために読後の感想などに時間をかけて話し合う余裕が足りないのも事実です。反面、池上彰氏の「問題意識をもってメディアを読み取る」という内容の単元が挿入されたり、学ぶ幅が広がっていてもいます。興味をもって面白いと感じれば、習得できるはずですが、興味を持ち面白く感じてほしいと思いながら授業を展開しましたが、どこまでお役に立てたかは疑問です。せめて印象に残るものがあるとよいのですが。

先人が苦勞をして命と引き換えに勝ち取った平和的、民主主義的な考え方を、私たち大人は、家庭や学校で子供達に伝える努力をしています。教科書では、「話し合い」は自分の意見の正当性を確かめ他の意見とすり合わせてより良い解決策を見つけることだと教えています。実社会のいろいろな場面でも思いやりと実りある話し合いができればよいのですが。これらの課題の答は、実は子どもの心の中には備わっているようにも感じます。かわいい子供達と関わることができて、楽しかったです。生徒さんに支えられ、保護者に見守って頂き、先生方に助けられて、今日まで勤めることができました。皆様お世話になりました。ありがとうございました。